

——看護学部の新たな試み——

2年生が1年生を病院キャンパスに招いて交流会を開催！



新潟薬科大学の看護学部では、1年生は新津キャンパスで、2年生以降は小針駅から徒歩11分にある西新潟中央病院キャンパスで学びます。キャンパスが離れていることで学年を越えた交流の機会が少なくなりがちですが、そんな中で活躍しているのが「看護学部交流会」です。

この会は、学生が中心となって企画・運営を行うイベントで、実行委員が話し合いを重ね、先生方のサポートを受けながら作り上げています。

今年度は、アイスブレイクから始まり、キャンパス探索クイズラリーや食事交流、豪華景品付きのbingo大会などを行いました。当日は、最初は緊張している様子も見られましたが、上級生のリードと1年生の元気によりゲームを通して自然と会話が生まれ、笑顔あふれる時間となりました。

実施後も連絡を取り合ったり、挨拶を交わしたりと、学年間のつながりを深めるきっかけになりました。来年、入学する皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！（2年 Y・Sさん）

母性看護学実習では子育て支援センターの実習があります！

3年後期になると臨地実習が始まります。母性看護学では、病院実習に加えて、子育て支援センターの実習もあります。

子育て支援センターでは、親子が安心して過ごせる環境づくりの大切さを実感しました。職員の方々は、子どもの発達に応じた遊びを提供しながら、保護者の悩みに親身に耳を傾けており、支援とは「教える」ことではなく「寄り添うこと」だと学びました。子ども達と一緒にブロックやおままごとの遊びを通して、笑顔いっぱいにはしゃぐ姿がとても可愛らしく心が癒される実習でした。

温かい雰囲気の中で過ごす時間を通して、子育て支援センターの意義と楽しさを感じることができました。（3年 Y・Sさん）



一人々の健康を守る看護学への寄与を目指してー